

孟冬の川縁

たまにように!

G C D7 G C D7

^Cスレボリの街 ^G走る ^D江アサイクル ^G

^C緑がなくなつた ^G孟冬の川縁を ^G ^C D7

^{Em}橋の袂で ^Cふと足を ^Gつく ^D

^{Em}わたる川の真ん中 ^Gあたり ^D

^Gゆっくりと黒く ^C光り ^{Am}カーブしてる右の方 ^Gから

^G時折キラリと ^C光る ^{Am}流れが ^Gこちらに

^{Em}思い出す ^Cあれは ^C5年前

^D僕たちは ^Gここにいた

^{Em}もう今は ^C音の ^Cいい映像

^D押し寄せる ^Gまぶたの裏

焦茶いろの桜の枝が

唐草模様にも水面をヒビ割る

晴れていても念の為に

つけた手袋汗ばんで外す

背負ったリュック前に抱えこから取り出すモバイル

心に留めておきたい景色がせかカメラに

その瞬間我にかえる

今僕はここにいる

もう今は床かなあ頃

引き戻される現実には

遠くに聞こえる子供の叫び声

重なる乾いたバイクの音と